



MAZDA ROADSTER RF

Be a driver.

01



Photo:VS Terracotta Selection / Body Color:プラティクォーザメタリック

02





05

Photo:(P05)VS Terracotta Selection Body Color:マシングレーブレミアムメタリック (P06)海外仕様車をベースに一部画像を加工しています。 Body Color:マシングレーブレミアムメタリック *日本仕様車はP21~26をご覧ください。



06



07

Photo:(P07-08)VS Terracotta Selection(AT車) 海外仕様車をベースに一部画像を加工しています。 Body Color:マーシングレーブラミアムメタリック *日本仕様車はP21~26をご覧ください。



08



09



Photo:(P09-10)海外仕様車をベースに一部画像を加工しています。Body Color:ソウルレッドクリスタルメタリック *日本仕様車はP21~26をご覧ください。

10



あなたにとって、ロードスターとは、どんなクルマですか。

心地いい風を受けて、アクセルを踏み、ハンドルを切るだけで、自然と笑みがこぼれる。毎日走っている道でも、いつも新鮮に感じて、どれだけ運転しても飽きることがない。仕事へ向かう時にも、誰かと旅行へ行く時にも、ひとりでワインディングロードを走る時にも。景色のすべてが、鮮やかに見えて「このままどこまでも走って行きたい」。そう思わずにはいられない。私たちにとって、ロードスターは、そんなクルマです。
改めて、あなたにとって、ロードスターとは、どんなクルマですか。

マツダは、そんな風にひとりひとりの方が思い描くロードスターを大切にしながら、よりロードスターとの一体感が得られる新しい技術を開発しました。いつもの道を走って、買い物へ出かけたり、ちょっとした交差点を曲がったり、そんな日常シーンでの楽しさはそのままに、ロードスターを元気よく走らせたいワインディングロードなどでは、地面に吸いつくような接地感を生むことで、さらに気持ちよく駆け抜けられるようになりました。ロードスターが持っている“走る能力”を、最大限に引き出す技術。それが、キネマティック・ポスチャー・コントロール(KPC)です。

ロードスターを進化させるにあたって、私たちはいつも「だれもが、しあわせになる。」ことを大切に考えてきました。そして、その思いを、今の時代だけではなく、これから続く未来でも守っていくために。私たちはこれからも挑戦し続けます。

ロードスターがロードスターらしくあるために。
そして、あなたにとってのロードスターが、ずっと変わらずにあるために。

DRIVING POSITION

事故につながる疲労や誤操作を減らす。



クルマとまっすぐ向き合ってこそ、クルマとの対話が弾む

シートに座って自然に足を伸ばせば、そこにペダルがある。ステアリングを握って自然に左腕を下ろせば、そこにシフトノブがある。ステアリング位置を調整するチルト＆テレスコピック機能や、シート前端の高さを調節できるサポート機能と組み合わせることで、適切な運転姿勢を取れるようになりました。まっすぐに前を向いてクルマと一緒にロードスターRFとの対話は、ここから始まります。

グポジション調節の精度を高める レスコピック機能を採用	アクセルとブレーキ オルガン式アクセル
グの調節機構に、上下約42mmのチルト機能に 後約30mmのテレスコピック機能を採用。きめ グポジション調節を可能として、クルマとの一体感を ます。	足の動きとペダルの動き ペダルは、かかとを離す ブレーキの踏み替りが より自然に踏み替り

クルマの動きも見える

ラーを車両後方に移動することで確保した、
広い前方視界。走行中のクルマの挙動を直感的
やすい、力強く盛り上がったフロントフェンダーと
の造形。これらの工夫は、進行方向の状況が
く、さまざまな道で意のままの走りを安心して
転視界をつくり上げるためのこだわりです。



CONNECT

そして外の世界とつながる「マツダ コネクト」

「シグマ」はソフトウェアをアップデートでき、つねにサービスを利用できるコネクティビティシステム。インターネットラジオの受信^{※1}やハンズフリー便利で楽しい多彩な機能が安全に操作できます。およびロシアの衛星測位システムにより、さまざまな時間や場所で位置情報を確認することが可能になりました。また活用することで測位精度も

■ Navigation(ナビゲー

米国の「GPS」に加えて、日本の準
およびロシアの衛星測位システム
により、さまざまな時間や場所に
ことが可能になりました。さらには
活用することで測位精度も向上
現在位置をより高精度に地図画面

※4 SBAS:Satellite-Based Augmentation System(衛星基準補助システム)
測位衛星の誤差補正情報をを利用して、位置精度を高めます。

衛星システム「みちびき」
ロナス」に対応すること
て自車位置を測位する
BAS^{※4}からのデータを
れらによって、自車の
示します。

Apple CarPlayは車両のオーディオでiPhoneを操作し
通話、メッセージの送受信や、音楽を聴いたり、マップで目的地
調べることができます。また、Siriによる音声操作が可能で
*Apple CarPlay、iPhone、Siriは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
*iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
*一部対応していない機種がございます。対応機種について詳しくはこちらからご確認ください。
<https://www.apple.com/jp/ios/carplay/>
*Apple CarPlayを使用するためにはUSBケーブルが必要です。

補強システム) 静止衛星から配信される

Android Auto™とは、車両のオーディオでAndroidスマートフォンを操作できるアプリケーションです。電話メッセージ、音楽、マップなどAndroid Auto™対応コンテンツを車両のオーディオで使用できます。

要です。(無料)※2 お客様のスマートフォンまたは携帯電話の接続が必要な場合、年間無料更新付(年1回更新)。走行中は安全上の理由から、一部機能をお使いいただけません。運転中の操作は危険です。ご了承ください。弊社では、ご負担となります。必要なPC環境などの詳細は、次のWEBサイトをご確認ください。<https://infotainment.mazdahands.jp>

3 ショップオプションのナビゲーション用

*Google、Android、Android Autoは、Google LLCの登録商標です。

*一部対応していない機種がございます。対応機種について詳しくは、こちらからご確認ください。

<https://support.google.com/androidauto>

<https://support.google.com/androidauto>

*Android Auto™を使用するためにはUSBケーブルか

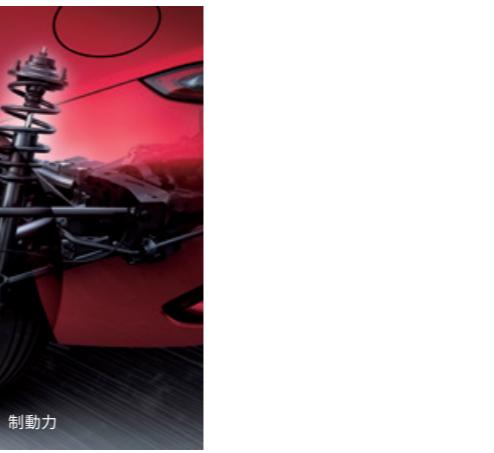
新技術KINEMATIC POSTURE CONTROL(KPC)(キネマティック・ポスチャー・コントロール)

KPCは、後輪の左右の速度差から旋回状態をリアルタイムに検知し、これに応じてリニアに作動を強め、適切な姿勢安定化の効果を発揮します。つまり、日常域ではこれまでと変わらない、ロードスターらしいリラックスした軽快な挙動を保ちつつ、ハードな走行になればなるほど、ロードスター自身が後ろ脚の神経を研ぎ澄まし、自らの旋回姿勢を上手に整えるのです。その結果、これまでよりも幅広いドライビングシーンにおいて、ロードスター本来のポテンシャルを最大限に活かした走りを体感することができます。

特に、タイトコーナーや荒れた路面などで、その性能は顕著に現れます。これまで車体が大きく傾いていたシーンでも、KPCによってクルマが地面に吸い付くように安定します。これによって接地感が高まり、ドライバーはより安心してアクセルを踏み込めるようになります。さらに、ハイスピードのコーナリングシーンにおいても、KPCの効果によって車体の浮き上がりが抑えられるため、ドライバーだけでなく助手席に乗っている方にも安心感の高い乗り心地を提供します。



*画像は説明用のイメージです。



上質へ向かう、SKYACTIV TECHNOLOGY。

世界でいちばん走りが楽しいと感じてもらえるクルマをつくりたい。
ロードスター RFの全身には、マツダのその想いが満ちています。
追求したのは、力強さと気持ちよさ、そして上質さ。すべての性能を磨き上げ、
「人馬一体」の走りの楽しさを、さらに深く、質感高く研ぎ澄ました。

SKYACTIV-G 2.0

余裕のパフォーマンスを楽しめる2.0Lエンジン

発進から高速走行まで、さまざまなシーンで力強く爽快な走りを楽しめるSKYACTIV-G 2.0。7,500rpmのトップエンド、全域で発揮できる力強いトルクなどにより、どのギアでも気持ちよくスムーズに加速でき、その加速がどこまでも続いているような伸び感を実現しています。同時にアクセルレスポンスとコントロール性、実用燃費の向上に注力。さらにはエンジンサウンドの爽快感にも徹底的にこだわり抜くなど、ロードスター RFならではの上質と楽しさに満ちた人馬一体の走りを、心ゆくまで味わえるエンジンに仕上げました。

<標準装備>

SKYACTIV-MT

唯一無二のシフトフィールを追求

手首の返しだけで正確に操作できるショートストロークはもちろんのこと、確かな手応えと軽快さ、なめらかさを感じられるシフトフィールを実現しています。

<MT全車>

SKYACTIV-CHASSIS

上質な乗り味を磨いたシャシー

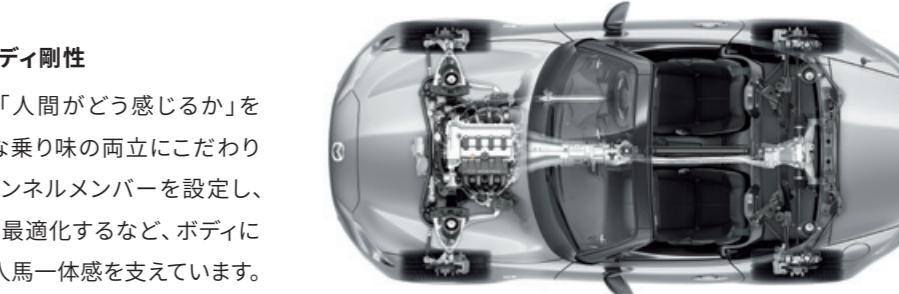
フロント・ダブルウィッシュボーン式、リア・マルチリンク式のサスペンションは、専用のセッティングを採用してストローク感と操舵感を最適化し、上質な乗り味を実現。さらに、全車に採用した大径17インチタイヤやダンパーに施した専用チューニングなどが、優れたグリップ感をもたらします。

<標準装備>

意のままの走りを楽しむ6速AT

シフトフィールのダイレクト感と優れた燃費性能を実現したロードスター専用の6速AT。ロードスター RFではダイレクト感のさらなる造り込みを行いました。意のままの走りをサポートするステアリングシフトスイッチと「ドライブセレクション」を備えています。

<AT全車>



*画像はイメージです。

ドライブセレクション

シフトレバー手前のスイッチを「SPORT」モードにすると、出力特性や変速タイミングの制御、変速スピードが変わり、アクセル操作に対して力強い加速を発揮。スポーティな走りはもちろん、交通量の多い道での合流などでもドライバーの意図に沿ったスピードコントロールが可能です。

<AT全車>



かつてない発想が生んだスタイル、上質なオープンエア感覚。

誰もが心に描くスポーツカーの美しさと、誰もが憧れるオープンの楽しさを突き詰めていったら、想像を超える心地いい新しい走りの世界が待っていた。
開放的なのにまるで空気に包まれているかのような、ロードスター RFのオープンエア感覚。

開放感と包まれ感の上質なハーモニー

オープン時にはフロントルーフ / ミドルルーフとバックウインドーが格納され、リアルルーフだけがボディ上に残る。かつてないこのスタイルが、オープンの開放感と安心できる包まれ感を同時に楽しめるコクピット空間を実現。そして、リアルルーフ形状の最適化やクリアタイプのエアロボードなどが室内への風の巻き込みを抑え、空気に穏やかに包まれて走る、これまでにない上質なオープンエア感覚を支えています。

人を魅了する、世界最速レベル^{*}の開閉アクション

トップの開閉は、フロントコンソールに設けたスイッチの操作だけで完結。トップロックの操作も不要です。そして、3つのルーフとバックウインドーを連携させ効率よく動かすことで実現した、見る人を魅了する美しくなめらかな動き。さらに、ルーフを開閉する所作さえ美しい。そうした美しさへのこだわりの結果、世界最速レベル^{*}の開閉アクションが生まれました。

*2018年4月現在の市販電動ハードトップ車として(マツダ調べ)

アニメーションなどでルーフの動きを表示

3連メーターの4.6インチTFTカラー液晶にルーフ開閉状態を表示。実際のルーフの動きにリンクさせたアニメーション、テキストでの説明、作動完了までの時間を示すプログレスバーなどにより、ルーフの開閉状態をわかりやすくドライバーに伝えます。

人間が気持ちいいと感じる静かさを追求

トップを閉めると、オープンボディであることを忘れる上質な静かさに包まれる。それがロードスター RFのコクピット。吸音・遮音材などをきめ細かく配するとともに、コクピット内で聞こえる音のバランスを整えることで、単なる数値では測れない質感の高さを実現しました。オープン時についても風の流れをきめ細かくコントロールし、人が実感できる静かさを追求しています。

2トーンルーフ(ピアノブラック)

ボディとのソリッドな一体感が精悍な印象のボディ同色ルーフに加え、フロントルーフ / ミドルルーフをピアノブラックとした2トーンルーフをメーカーセットオプションで設定しました。ルーフ部をブラックアウトすることでアーチ状のルーフラインが際立ち、よりエレガントな雰囲気を醸し出すとともに、クローズ時にもオープンカーであることをさりげなく主張。オープン / クローズの二面性をより上質に、おしゃれに表現します。

<対象グレードは別冊のTechnical Informationをご確認ください>

*ボディカラーがジェットブラックマイカの場合は、2トーンルーフは選択できません。





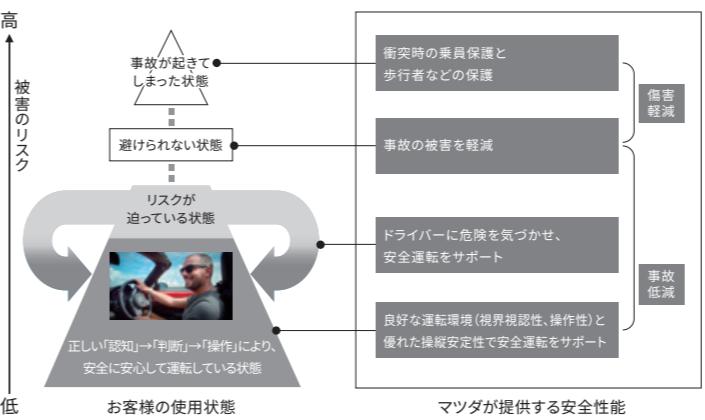
MAZDA PROACTIVE SAFETY

乗る人すべての安心と安全、そして楽しさのために

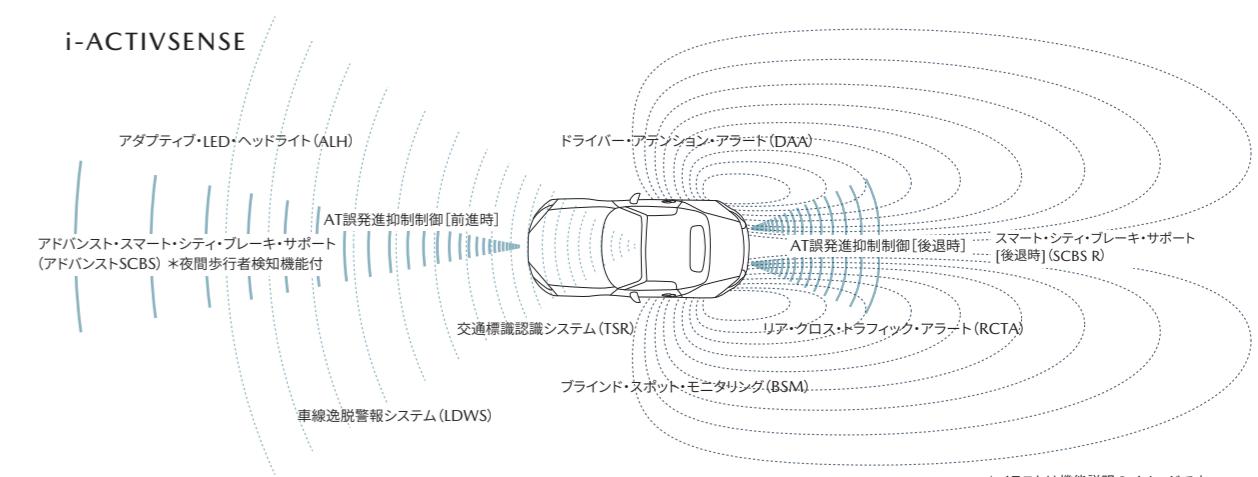
目前に迫った事故を避けるための被害軽減ブレーキは、今や、どんな自動車にも不可欠な安全技術になりました。しかしマツダは、それだけで満足はしません。危険な状況になってからそれに対処するのではなく、事故や危険につながる、もっともっと前の段階から、安全について考え、設計する。それによって、ドライバーが安心して運転できるように。そして、クルマに乗る人が走る歓びを思う存分満喫できるように。マツダ・プロアクティブ・セーフティ。これが、マツダの安全に対する独自の考え方です。

マツダの安全思想

MAZDA PROACTIVE SAFETY



i-ACTIVSENSE



*イラストは機能説明のイメージです。